

授業科目名： 環境と社会	教員の免許状取得のための 選択必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 尾上伸一 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	教諭時代、児童・生徒の自然体験保障を一貫して続けてきた。指導主事時代、環境教育の横浜市としての基盤カリキュラムを創った。校長となってからは環境教育を柱とした学校づくりを一貫させてきた。		
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校社会及び高等学校公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
実務教員としての経歴の中で、「時代時代の環境課題に対応する学校現場・各地域・各主体の実践」をテーマに講義を組み立てていき、教育実践から「次代の担い手となる子どもたちに社会で生きていくための知識・技能と意欲付けをいかにして図ってきたか、また今後図っていくのか」を伝え、「ここまでで私自身の環境教育実践を支え、方向付けをしてくれた各地域や各主体の実践を積極的に紹介する」ことにより、環境問題を自らの問題として捉え、危機感に基づいた環境意識によらなくとも、多様な動機付けの場面を提示し共に考えていくことで、問題解決に向けた行動をとる意欲と道筋を考えられる力が修得されるようにしていく。			
授業の概要			
本授業では、主に1990年以降の時代時代の環境課題を環境白書から理解し、課題解決を図った学校を核とした環境教育実践とそれを支える各地域・主体との関りを具体事例をもとに学ぶことにより、豊かな地球環境を次の世代に引き継いでいくために問題解決（SDGs実現）に向けた具体的な行動への促しとなることをねらいとする。			
授業計画			
<p>第1回：「環境と社会」環境白書から現状の把握 何を学ぶのか ゴールを共有</p> <p>第2回：環境白書の理解 公害白書からの変遷を知る 20世紀末からの環境課題</p> <p>第3回：環境白書の理解 環境白書（令和5年度版） 現在の環境課題</p> <p>第4回：大道小学校での実践① 自然とのふれあいのための施設・野生生物保護（h4）生物多様性の確保 シンポジウムの開催等による普及啓発活動（h7）</p> <p>第5回：大道小学校での実践② 市民活動への参画 パートナーシップがつくる持続可能な未来（h8）</p> <p>第6回：下永谷小学校での実践① 学校教育及び多様な場における環境教育（h14） 校庭自然体験博物館 環境で育む心、心が守る環境（h16）</p> <p>第7回：下永谷小学校での実践② 環境パートナーシップの構築 社会に広がる環境の国づくり 家庭から学校から市民団体から（h17）</p> <p>第8回：教育行政での実践 持続可能な社会の構築に向けて 横浜市環境教育推進カリキュラムの策定 国連持続可能な開発のための教育（ESD）の10年（h19）</p> <p>第9回：飯島小学校での校長としての実践 里地里山の教育環境（h28） SDGs達成を目指す教育プログラム（h29）</p> <p>第10回：環境を活用した被災地の地域づくり（h27） 陸前高田市たかたのゆめp j</p> <p>第11回：地域資源を活かした地域循環共生圏の創造（h30）大館市ふるさとキャリア教育</p> <p>第12回：地域資源を活かした地域循環共生圏の創造（h30）豊岡市コウノトリ再び</p> <p>第13回：六浦小学校での校長としての実践 新型コロナウィルス対応 各主体をつなぐ組織・ネットワークの構築・強化（r4） 花鳥風月を感じる校庭づくり</p> <p>第14回：地域循環共生圏 ローカルSDGsの取り組み（r5） 持続可能な地域と暮らしの実現（1） SDGs未来都市としての市民共創実践</p> <p>第15回：地域循環共生圏 ローカルSDGsの取り組み（r5） 持続可能な地域と暮らしの実現（2） はまみらい子ども会議 リビングラボ</p>			
定期試験			
スクーリングでの学修			
Webライブスクーリングでは、第4回から第9回、第13回から第15回の内容を包括的に扱う。テーマに基づいてディスカッションを行い、他者の問題意識や意見の交換を通して自身の問題意識を広げ深める。			
テキスト			
環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書 令和5年度版 ( <a href="https://www.env.go.jp/policy/hakusyoro05/index.html">https://www.env.go.jp/policy/hakusyoro05/index.html</a> ) ( <a href="https://www.env.go.jp/content/000039238.pdf">https://www.env.go.jp/content/000039238.pdf</a> ) ( <a href="https://www.youtube.com/watch?v=uWmUZDy88N0">https://www.youtube.com/watch?v=uWmUZDy88N0</a> )			
参考書・参考資料等			
環境と社会（放送大学教材） 植田和弘・大塚直（2015） 1847538-1-1511 環境の社会学（有斐閣アニメ） 関礼子・中澤秀雄・丸山康司・田中求（2009） 9784-41-2385-4			
学生に対する評価			
スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			